

「はばたく群馬の指導プラン」  
推進校公開授業研修会  
(大泉町授業改善実践校公開授業)

大泉町立南小学校

# 1. 南小って、こんな学校です！



元気！



そろっていると  
気持ちよい



協力！



読み聞かせも  
大好き

# ～外国籍児童がたくさん！！～

- ▶ 日本語学級で取り出しの少人数指導
- ▶ 外国語指導助手の活用（通訳・翻訳・指導）
- ▶ 町と連携し多文化共生の推進



# ～学校教育目標～

- (1) 基本目標  
児童一人ひとりが心身ともに健康で豊かな心と主体性を持ち、生涯に向けて学び続ける実践力のある子どもを育てる。

- (2) めざす児童像

**「やさしく たくましく かしこい 南っ子」**

み～ 自らの生命や健康を守れる子

な～ 仲良く助け合い、ともに高め合う子

み～ 自ら課題を見つけ、追究できる子

っ～ 強い意志と体で、がんばりぬく子

こ～ 心やさしく、思いやりのある子

# ～学力向上～

## 教育課程の改善・充実

- ▶ 朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
- ▶ 全国学力・学習状況調査、標準学力調査の分析とそれに対する取組  
→ 《各学年の取組》

## 指導体制の工夫

- ▶ 教科担当制（5・6年）の部分的実施
- ▶ 1～4年：担任とマイタウンティーチャーとのTTによるきめ細かな指導
- ▶ 「学年道徳」の実施

## 家庭・地域との連携

- ▶ 家庭学習がんばり週間、がんばりカード
- ▶ 「家庭学習の手引き（保護者用）の配付」
- ▶ 「家庭学習の手引き（児童用）の配付」

## 具体的な児童への関わり・教師の指導力の向上

### ▶ 国語

コツカード（説明文の読み方の資料）  
職員『おすすめの本』の紹介  
県立図書館「朝読書セット」の活用  
新聞「みんなのひろば」への投書

### ▶ 算数

南小算数の進め方の共通理解

### ▶ 全教科

ホワイトボードの活用

ネームマグネット（両面）の活用

### ▶ 学習規律の徹底

「学習の約束」「声のものさし」を  
全校で共通理解  
→基本的な学習ルールの定着

学年	取組
1年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
2年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
3年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
4年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
5年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）
6年	朝学習・朝読書・読み聞かせ（ボランティア）

# ～学年道徳の実施（H30より）～

## 学年道徳

- 担任と担任によるローテーション
- 学期始めや行事前等は担任が授業を実施
- 総合的な学習等、教科に関わりが深い内容は担任が授業を実施
- 自分が授業しないときは、他クラスの授業を参観
- 内容等においてTTで授業を実施



## 成果

- ◇学級・学年経営の充実
  - ・学年の児童の実態把握
  - ・児童の様子を複数の目で捉える
  - ・同一步調での支援
- ◇教材研究の充実
  - ・資料の共有・蓄積
  - ・有効だった手立ての共有
  - ・改善点を次の授業で生かせる

千代  
南小！



## 2.今年度の南小・・・



- ▶ 分散での行事
- ▶ マスクでの活動
- ▶ 検温・消毒
- ▶ 授業での対策



チーム  
南小!



**授業時数削減による教育課程の見直し・・・ 組織的な取組の必要性**

# 先生達の課題

## ～はばプラチェックリストより～

導入の工夫	* 児童の意欲をひきだすために、どんな資料を提示すればよいのだろう
課題解決	* 児童が予想や仮説を立てて、課題解決への見通しをもたせるためには
多様な考え	* 発問や問い返しの工夫はどうすればよいのだろう
振り返り	* 本時の学習の振り返りの時間確保が難しい
	* 学んだことを一般化させるには



# 先生達の悩み

悩 み	* 新しい学習指導要領の元で教材研究
	* 評価が変わる どんな点で？ どうすればいい？
	* 休校後の、児童の学習意欲の低下・・・対応は？
	* コロナ禍の中での学習環境の整え方
	* 組織的な取組みをどのようにしていくか？
	* 生徒指導が多い・・・どこで時間をとればよい？

### 3. 研修

R02 はばプラⅡの  
研修スタート

～組織的な取組み～

チーム  
南小!

組織的に  
研修して  
授業力UP

# 本校の課題（H30～R01 道徳研修）

- ・ 対話的な場面で自分の考えを言えない児童
- ・ 話し合いを深めさせるための指導方法
- ・ 道徳的価値の高め方
- ・ 発問や問い返しについての工夫

本校の課題の解決に、  
「はばプラII」  
が役立ちそう！！



「主体的・対話的で深い学び」にするための授業作りの基本

- ①児童生徒にとっての単元及び題材の課題を設定する。
- ②単元及び題材の解決（目標への到達）に向け、各単位時間をつなげる。
- ③多様な考え方に触れ、自分の学びを広げたり深めたりできるような対話的な場面をつくる。
- ④主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくる。

（はばプラII第1章より）



# 令和2年度 後期指導主事訪問

## 1年道徳「すききらいにとらわれない」



- 導入に身近な場面を用いる
  - 児童の言葉を使ってめあてをスムーズに設定
- 顔マークの使用
  - 登場人物の気持ちを視覚的に理解
- ネームマグネットの使用
  - 一人一人の考えが明確に
- 登場人物の紹介・資料の大型紙芝居化
  - 児童の集中アップ
- ☆多様な考えを引き出せるように意図的指名を導入する必要
- ☆ねらいとする価値に迫れるよう発問や問い返し、補助発問の工夫が必要

## 5年算数「面積の求め方を考えよう」



- 導入で、児童にとって必要感のある問題を用意
  - 児童と対話しながらめあてをスムーズに設定
- 児童の言葉でまとめ、次時へのめあてにつなげる
- ワークシートの工夫（大きなマス、色違い）
  - 児童の進度の違いに対応
- 共通点や相違点といった視点の提示
  - 児童の主体的な姿につながり意欲が高まる
- ☆発表を区切り、リレー方式で指名したり質問したりして、児童の言葉で説明させていくことが必要
- ☆個別で考えさせる時間は短く、全体共有の時間を長くする



# 今年度の研修計画

**全教科で！**

チーム  
南小！

3 目標（成長した子ども）  
**授業改善研修**（ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ）

○目標

**「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成」**

○具体的な手立て

「めあての設定と振り返りの場面の工夫を通して」

・めあての設定、振り返りの場面に絞って全教科で取り組んでいく

**資質向上研修**（ク、ケ、コ）

「評価について」

「心肺蘇生法講習会」

「道徳の授業づくり」

「授業改善に向けて」

「生徒指導と保護者対応」

**全職員で！**

**めあてと振り返りの場面の工夫を通して（はばづらを基に）**

・班分け（学年）による授業改善

・問い返しや補助発問など考えが深まる発問の工夫（昨年度より）による伝達講習

授業改善研修

+

資質向上研修

# 目指す児童像

	「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成」	
	①今年度の重点	②来年度に向けて
1年	①自分の考えをもち、友だちに伝えることができる児童 ②友だちと自分の意見が同じか違うかを考えることができる児童	
2年	①課題を自分から見つけて取り組むことができる児童 ②友だちの意見を聞いてうなづくことができる児童	
3年	①自分の考えをもち、言葉や図、式で書くことができる児童 ②友だちの意見を聞いて、自分で意見を取り入れて書くことができる児童	
4年	①既習事項や経験などをもとに自分の考えをもつことができる児童 ②相手にわかりやすい言葉や文章などに表現することができる児童	
5年	①既習事項をもとに見通しをもって課題に取り組むことができる児童 ②自分の意見を友だちの意見と比較して考え表現できる児童	
6年	①課題に対し、見通しをもつことができる児童 ②自分の考えを根拠を明確にして書くことができる児童	

# 組織

校内研修代表

1年 道徳

5年 算数

授業やり  
ます！

はばプラの公開授業

1年 道徳 5年英語

2年 国語 6年算数①

3年 算数 6年算数②

4年 道徳

授業やり  
ます！

チーム  
南小！

低学年ブロック

高学年ブロック

学年を中心とした

6チームに

# ～学力向上～

研修主任

はぼプラ特配

(初任研担当)

チーム  
南小!

学力向上コーディネーター

初任者研修  
メンター研修

PTA学力向上委員会



チーム  
南小!

# ～はばプラ特配として～

## はばプラ研修推進

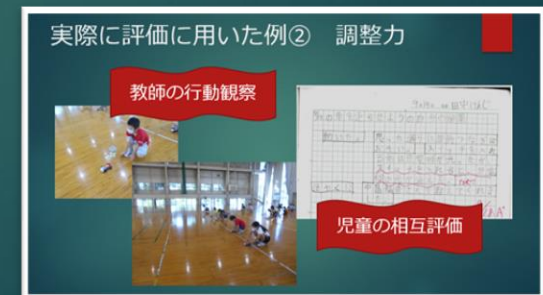
- ・ 本校の実態、現状の把握
- ・ 全体の計画スケジュール立案
- ・ 研修主任と、研修の進め方や成果と課題について確認
- ・ チームによる模擬授業（職員が児童役）、プレ授業等の計画
- ・ 指導主事との連絡、打合せ
- ・ 指導主事に指導していただいたことを学年で共有

## コーディネーター

- ・ 学年の研修計画作成への助言
- ・ 授業参観及び助言
- ・ 指導案作成への助言
- ・ 現場の声に基づいた、指導主事への研修要請
- ・ 学力向上コーディネーターと連携して学力向上推進
- ・ メンター研修推進

## 資質向上研修

- ・ 第1回はばプラⅡ研修の講師
- ・ 授業公開（初任研）
- ・ 新学習指導要領に基づく、新しい評価の実践例紹介



♪ はばプラⅡ研修の推進と研修の組織的な実施を目指して♪

# ～初任者研修＋メンター研修～

▶ 休校中（4・5月）

模擬授業（算数）



体育



算数



千一  
南小!

模擬授業（英語）




英語の歌公開



国語



# 推進計画

	授業改善研修	はばプラⅡ研修	資質向上研修
<b>4月</b> (休校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修主題・副主題決定</li> <li>後期指導主事訪問代表授業者決定(2名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ公開授業者決定(7名)</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>メンター研修</li> </ul>
<b>5月</b> (休校)		<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回研修会(はばプラ担当) 「はばプラⅡで求められているもの」</li> </ul>	
<b>6月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回研修会(野村指導主事) 「はばプラⅡを基にした授業作り」指導方法や指導技術の具体的な指導</li> </ul>		
<b>7月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の方向性の確認                             <ul style="list-style-type: none"> <li>*「主体的」、「めあて」、「振り返り」の共通理解</li> <li>*目指す児童像</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス規律について</li> </ul>
<b>8月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期指導主事訪問ブロック検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ公開授業学年検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンター研修</li> </ul>

# 推進計画

	授業改善研修	はばプラⅡ研修	資質向上研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回はばプラ研修「はばプラⅡを活用した授業づくり」 【国語・算数・外国語科】（柴崎・小川・半田指導主事）</li> <li>はばプラⅡについて1回目の話合い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>メンター研修</li> <li>国語評価研修（柴崎指導主事）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期指導主事訪問ブロック検討会（模擬授業、プレ授業、検討会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ指導案学年検討会</li> <li>指導主事による日常参観、指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンター研修</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期指導主事訪問（2名）</li> <li>新学習指導要領に関する研修会（高柳指導主事）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ指導案学年検討会（模擬授業、プレ授業、検討会）</li> <li>指導案提出1回目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンター研修</li> <li>アレルギー対応研修</li> <li>評価研修【算・理】</li> <li>コツカード研修</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事訪問の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ指導案学年検討会（模擬授業、プレ授業、検討会）</li> <li>指導案提出2回目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上研修</li> </ul>
1月		<ul style="list-style-type: none"> <li>はばプラⅡ指導案学年検討会（模擬授業、プレ授業、検討会）</li> <li>公開授業</li> </ul>	

# はばプラⅡを基にした 授業づくりについての研修会

主体的な学びの視点  
とは…

こんな教材研究  
をするといいで  
すよ

「めあて」と「ふり  
かえり」の場面の設  
定とは…

学級経営での  
困り事はないで  
すか？

授業の最後に児童が  
何を言えるようにな  
ってほしいか…



単位時間における「めあて」と「振り返り」の概要図



楽しい授業とは・・・各教科の本質に迫る楽しさを感じられる授業

= 主体的で対話的で深い学びが実践されている授業

## ①教材研究

### I 児童の見通し

追求していく学習の方向

目標達成の姿をイメージ

まとめる過程 → 「一般化」

### II 各単位時間をつなげる（A・Bパターン）

### III 対話的場面の設定

### IV 各単位時間での「めあて」「ふりかえり」

の場面

ここが本校の研修！！

## ②学級経営

・児童が安心して発言できる雰囲気作り

・教師の児童への受容的・共感的な態度

・ルールづくり

・学習形態の工夫

・効果的な交流活動

（どんな視点での交流？）

→問い直し・再構成・

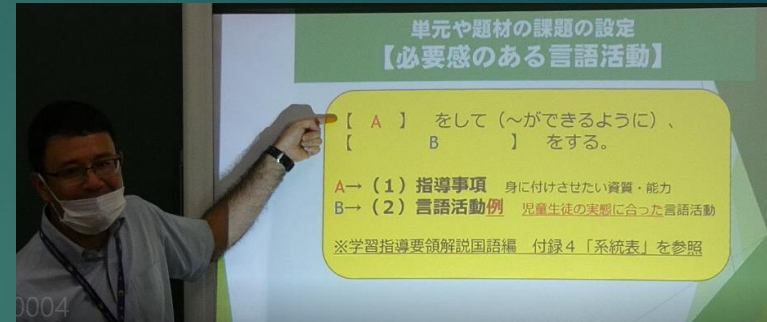
新たな知識・考えの形成

道徳以外にも聞いてみたい！

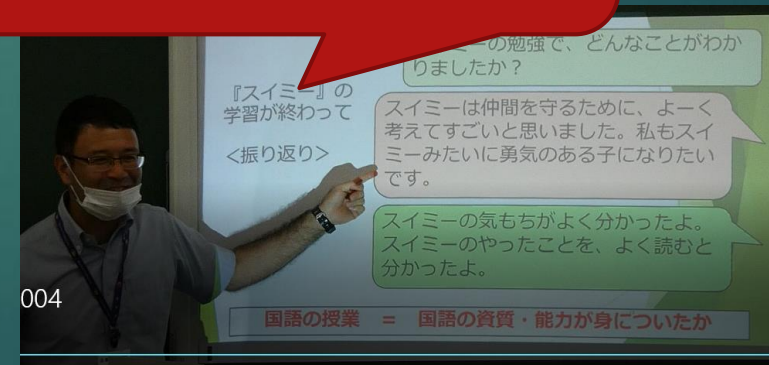
# はばプラ研修会 国語

## 言葉による見方、考え方

- ◇言語活動を通して指導事項を身につける
- ◇言語活動例→具体化（創意工夫）
- ◇必要感のある言語活動
- ◇交流活動≠対話的活動
- ◇対話的活動は一斉指導の中でもできます  
（雰囲気作り、受容的・共感的）  
思考を深めるための発言の取り上げ方
- ◇めあての設定→授業の最後に児童に言う  
ようになってほしいことから考える
- ◇ふりかえり：指導事項の言葉が児童から  
出てくるとよい



単元を通して学んだことが、  
他の場面で活用できること  
を自覚させましょう



# はばプラ研修会 算数

～主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善～

◇児童の気づきや疑問を引き出し、単元の課題を立てる

◇めあての設定

①問題提示の工夫：イメージ化・問いを引き出す

②問いからめあてをつくる

◇個別追究：短時間 → 早い子は複数の解決を  
様子を見取り（つまづき・共有部分）

◇全体共有：×発表し合うだけ

→友達の考えを主体的に聞き、考えを深める

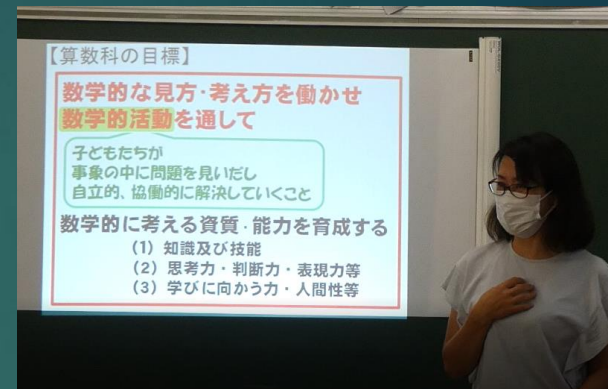
→区切る・他者説明・問い返し

◇深める：比較・検討の視点をもたせる

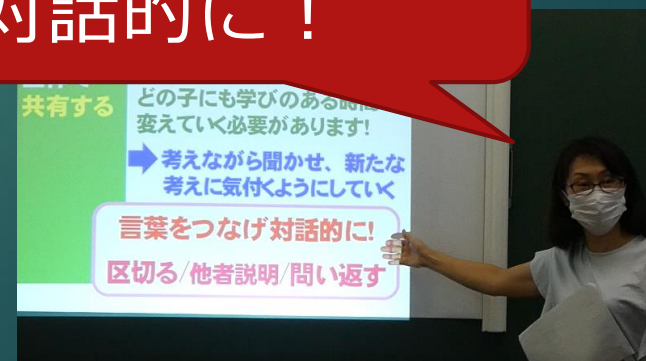
◇まとめ：児童の言葉を生かす

◇ふりかえり：適用問題

自己内対話（思考の流れを整理、新たな疑問）



言葉をつなげ、  
対話的に！





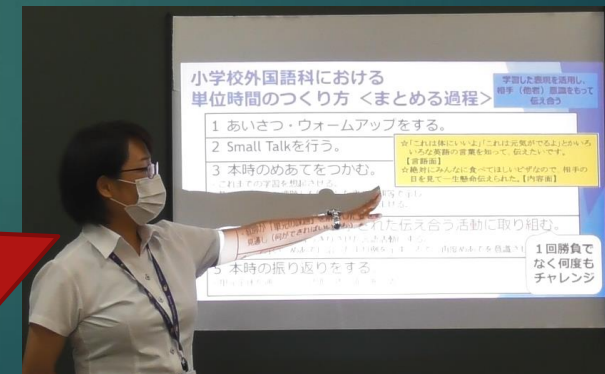
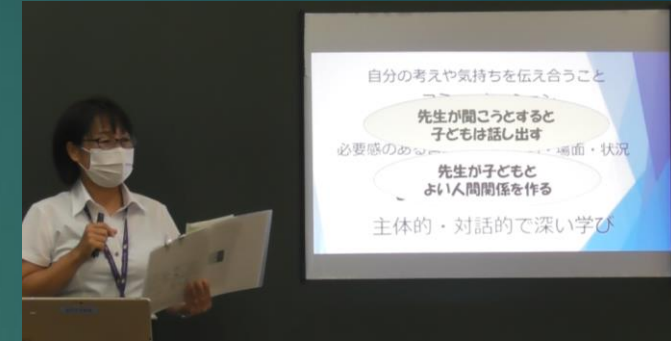
# はばプラ研修会 外国語

外国語「自分の考えや気持ちを伝え合うこと」

- ◇必要感のある言語活動
- ◇目的意識・相手意識
- ◇SMALL TALK
- ◇言語活動
- ◇まとめる過程：学習した表現を活用、相手意識
- ◇先生と子どものよい人間関係

「三密」をさけた言語活動の工夫

生涯、英語でコミュニケーションをとれるように！



# はばプラ研修会～教科ごとの話し合い～

道徳部会

自分事として  
考えるには  
どんな導入に？



算数部会



板書はどういう  
ところに気をつ  
ければ？

英語部会

国語部会



学習指導要領が新しく  
なり、評価についても  
教えていただけると…

チーム  
南小！

# 普段の授業はどうですか？



数直線図の書かせ方をそろえましょう！



児童が考えた解き方に名前をつけてみましょう！



全員参加をさせる手立ては、こんな方法がありますよ

指導主事による参観

↓  
アドバイス

# 4. 各学年の実践①

## ◇プレ授業



児童役割演技  
を効果的に取り  
入れたい

## ◇検討会

他の子に、「みんなはどう思う？」  
というやりとりを  
するといいですね。



## ◇プレ授業



問い返しの例として、  
「なぜ逃げるの」「え、それで  
いいんじゃない？」  
児童と先生のやりとりの中で、  
少しずつ価値が変わっていく、  
その変容を逃さずに

# 各学年の実践②

## ◇プレ授業



## ◇学年検討会



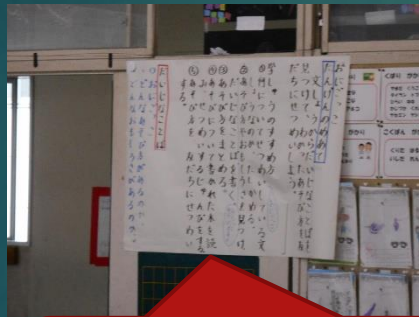
本時の前の時間に、  
もっと意識させておく  
べきことがありました

## ◇プレ授業



## ◇学年検討会

情報を見つけると  
ころで、児童の考  
えを出して欲しい  
です、ここが対話  
の場面です。児童  
の言葉で説明させ  
て欲しい



本時の活動を単元計画一覧で  
確認できるのはいいですね



情報の比較。例え  
ば、「2段落目は  
ふつうの鬼ごっこ  
と何が変わっ  
た？」と問うのは  
どうでしょう？

# 各学年の実践③

## ◇プレ授業



児童の発表を対話的にするには…

つなぎ言葉のレポーターを増やすとよいですね

## ◇模擬授業



児童の言葉から、めあてを引き出すには…

説明だけでなく、問題も子どもに続きを予想させる、部分的に見せるなどの工夫が大切です

## ◇検討会



## ◇検討会



# 各学年の実践④

## 検討会



自分のこととして考えさせるために、導入で保護者のアンケートを取り入れたい…

## プレ授業



価値を教師がどのように理解し、何を児童に伝えたいかをわかってないとずれてしまう

## 模擬授業

他者意識も大切だけれど、主題がAだから、自分をコントロールする部分をもっと出したい

今回の題材は、実生活に関わる。「度が過ぎる事が悪い」という考えにはならないように、自分の「折り合い」を

## プレ授業



コロナでペア活動難しい…  
→対話を教師が作り出す  
教師は中継役に！

# 各学年の実践⑤

## 模擬授業・検討会



前時までの既習事項をスムーズに復習させたいけど…

本時は「まとめる」過程  
ALTと児童とのやり取りを取り入れると、単元を通じて習得してきたことが使えるようになったと児童は自覚できます

## プレ授業・検討会



アクティビティを児童に進んで取り組んでもらうための工夫は…



児童の活動の間に、先生と児童（全体）→先生と児童（代表）で一緒にやり取りしながら、スモールステップで進めるとよいですね



# 各学年の実践⑥

## ◇指導案検討会

修学旅行で見学したお寺や神社を導入で使えるかな...



4つの寺社のまわり方を1つだけノートに書いてもらうところから始めるとよいかもかもしれませんね

## ◇模擬授業・検討会



どんな言葉がけをすると、児童に1回で意図が伝わるかな...

## ◇プレ授業・検討会

言葉を精選して、教師が間を取ると児童が考えるようになります



教師が話さないと、児童の行動が見えてきた！！

# 5. 成果と課題

## 成果〈児童の変容から〉

- ◇ みんなの前で説明するのをいやがっていた子
  - 回数を重ねる・動作化 → 意欲up・自分の事として取り組めるように！
- ◇ 「わからない」とすぐに言っていた子
  - ヒントなどから考える・課題に前向きに取り組めるように！
- ◇ 他の子の発言に文句を言う子・関心の無い子
  - 同じ意見をとり上げる・まねをする
    - 認め合う雰囲気・安心して言える雰囲気に！
- ◇ 低学年でもキーワードからめあてを作れるように！
  - 「どんな学習をするか」という見通しをもてるように！  
学習内容を意識して取り組めるように！
- ◇ (友) と、他の子の意見を自主的にノートに書く子up ← 聞く力が育っている
- ◇ 「なぜ？」「何が？」「どうして？」等教師の問い返し
  - 児童の 考えの広まり・深まりに！

# 成果＜教師の立場から①＞

◇めあて : 必要感のあるめあての設定の重要性を理解

児童の言葉からキーワードを拾うことが児童の意欲や学習への見通しにつながった

◇問い返し : 思いつきで発言する児童の減少が見られた

自分の考えをまとめようとする姿が見られた  
児童が自分の考えを深めるのに有効であった

◇課題の解決 : 道徳の動作化、視覚資料の活用、ワークシート、ヒントカード等の活用

→児童に考えをもたせるのに有効、考えの深まりにつながった

児童の交流だけでなく、対話的な学び（資料との対話、自己内対話等）の場面を設定し、実践することができた

◇振り返り : めあてに基づいて学習を振り返りことは、学習の定着に結びつく

教師がゴールを明確にもっていることが大切

新たな問いを話し合うことなど、次につながるふりかえりが大切

**めあてと振り返りの  
場面の工夫の有効性**

# 成果〈教師の立場から②〉

## ◇国語

- ・単元のつながりを意識して、本時を考えられるようになった
- ・良い学習方法の紹介が、児童自身の学習の改善につながった

## ◇算数

- ・問題提示（区切る、隠す等）の工夫が、児童が問題場面を想像することにつながった

## ◇全体

- ・教師の発問の精選を意識
- ・子どものつぶやきを拾うことの大切さを実感
- ・学年団、多くの先生方の協力があり、意見や助言等、支えてもらえた
- ・学年の先生方との話合いから解決法が生まれる→日頃のコミュニケーション大切
- ・複数の研修教科→情報交換、互いの参観、実践紹介の機会等  
→自分のチームではなくても模擬授業などに参加でき、幅広い学びに



チーム  
南小!

# 課題

## ◇全体で

- ・適切な問い返しをするためには、日頃からどの教科でも意識して取り組むこと
- ・ノートや板書のルールを統一できる部分を話し合う
- ・学習したことの一般化

## ◇目指す児童像に向けて

- ・多くの教科で、自分の考えを表現させる経験を積ませる
- ・自分の考えを明確にできる児童と、まだ表現そのものが難しい児童が混在する  
集団への対応

児童が、自分の考えを表現

## ◇研修内容や成果の共有

- ・他学年の事だから、ではなく全員で研修に向き合えたか計画立案に課題
- ・教科が複数あり、他教科の研修を共有する時間がほしい
- ・プレ授業を公開していても、自クラスを自習にできず参加できず残念

教職員の研修：共有の時間確保

千一  
南小!

